

令和元年度事業報告

1. 事業概要

日本社会における労働力人口の確保は慢性的な減少を受け、政府が働き方改革「一億総活躍社会」の実現により、労働環境改善を図るためさまざまな取り組みを行っていますが、人手不足の起因である少子高齢化には歯止めがかからず逆に労働力不足に拍車を掛けているように思われます。

そんな中、当シルバー人材センターも例外ではなく、重点目標に掲げた会員数の増強は、前年度を上回ることが出来ませんでした。また、就業機会の拡大を目指しましたが、新たな仕事はあっても肝心である就業可能な会員が足りず、結果として自発的な開拓は叶いませんでした。

しかし、既存の受注に会員を集中させた結果、契約金額については前年度対比約104%と若干ではありますが上回ることが出来ました。また、就業率においても80%台に到達し、就業意欲にも繋がったものと思われます。

定年延長等による雇用環境の変化により入会者数は今後も横ばい傾向を辿るものと懸念される中、既存会員の加齢による退会者数が増加傾向にあるように思われます。このことを踏まえ、会員が健康的に働いて生涯現役を貫き、地域密着型のシルバー人材センターであり続け、地域住民の需要に応えていくことを重要課題とし邁進してまいります。

2. 就業機会提供事業及び就業機会確保事業

高齢者にふさわしい臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な仕事を発注者より請負・委任或いは、労働者派遣事業で引き受け、会員の希望、知識、経験等を考慮しながらグループ就業やローテーション就業を基本とし、就業機会の提供と確保に努め以下の事業を実施しました。

(1) 安全・適正対策推進事業

高齢者の自動車事故が問題となっていることを受け、会員全体へ周知を行い運転業務に従事している会員へは自動車教習所において講習を受けてもらうなどの対策を講じました。また、その他にも講習会を実施し事故撲滅に取り組みましたが、傷害事故3件(蜂刺され)、賠償事故1件(車両へのキズ)が発生しました。これらの状況把握に努め、来期の事故ゼロを目指し、事務

局だよりに掲載して情報共有を行うなど周知徹底を図りました。

適正就業については、就業機会の均衡を図り、会員の希望・知識・経験を把握し、その結果を反映させながら公平化するため、グループ就業やローテーション就業に努め就業率の向上を図りました。

(2) 普及啓発事業

地域に密着したシルバー人材センターを広く周知させるため、チラシの配布や市広報紙への広告掲載、地元新聞への記事掲載などでPRに努めました。また、例年実施している春と秋の清掃ボランティア活動においては、会員へ広く呼びかけ延べ129名もの会員に参加をいただき、活動を展開させ普及啓発に努めました。

また、「黒石りんごまつり」へ参加しチラシの配布やアンケートの実施、会員の活動写真等の掲示、同時に就業機会や会員の拡大を目的とした当センターの説明等を行い来場者へ広くPRと普及に努めました。

(3) 就業開拓提供事業

会員にふさわしい就業機会を提供するため、役員職員が市民へ直接チラシを手渡し、シルバー人材センター事業についての説明をしながら、就業の開拓に取り組みました。

3. 就業機会提供のための独自事業

少子高齢化と共に高齢者世帯が増加する中、日々の通院や買い物等といった日常生活に支障をきたし、シルバー人材センターを利用する高齢者が増えています。これらに対応すべく、当センターの家事・介護班を中心に高齢者に寄り添った対応を行うため、会員自ら毎月ミーティングを実施しスキルアップとサービスの向上に努めました。

また、会員数の増強においても積極的に行動し、大幅な増強とはならなかったものの家事介護班の拡大にも努めました。